



8月下旬に第2回全校研究会を行い、本研究の設定理由や目的、方法、内容の確認を再度行いました。9・10月には、全校授業研究会を3回実施します。ライフキャリアの視点から取り組んでいる各学部の進捗状況を確認し、学部間の関連性を意識しながら協議を深めていきたいと考えています。そこで、今回は全校研究会の指導助言と今年度の各学部の関連性を示します。

◆第1回全校研究会の指導助言から◆

- 研究の目的の共有⇒障害の重度、重複化・多様化に応じた教育課程を編成する。「地域」は手段であり目的ではない。
- 研究に関する用語の共通理解⇒研究用語集の発行（再度確認しましょう）。
- 学習上のルールづくり⇒学校として共通の学習ルールを実践する。まずは、「めあて」の提示と「振り返り」の実施。
- 個に対する指導と集団の学び⇒個に対する指導を重視するとともに、集団の学び合いも充実させていく。
- 「横手のスタンダード」「キャリアノート」の活用⇒指導の手がかりとして活用方法を探り、その価値を高める。

◆第2回全校研究会の指導助言から◆

- 私たちのゴール⇒児童生徒が自分の役割に気づき、自分らしさを発揮し、自分のなりたい姿に向かって活動するための授業実践を積み重ねることで、社会的自立につながる力が育つこと。
- 公開研究会、事前研究会⇒見てもらうのは1時間であるが、日々の授業の積み重ねと評価・改善の繰り返しの結果として提示する。そのためには、系統的で継続性のある指導を日々行うことが大切。学習の主体である子どもにとって意味ある単元構成と学習活動であってほしい。
- 授業研究会の意味⇒個人やTTの成果を共有することで、全体の底上げになる。

☆各学部の関連性☆

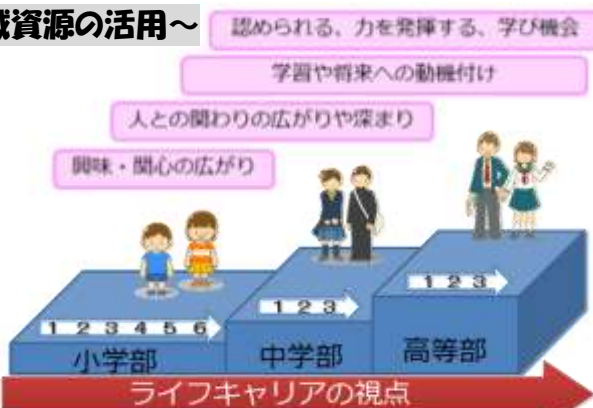
～テーマ～ **小学部**「自分のやること（役割）が分かり、意欲的に活動に向かう姿」

中学部「学習集団の中で役割を果たしながら、活動をやり遂げる姿」

高等部「社会生活に向け、経験を生かしながら考え、判断し、行動する（役割を果たす）姿」

*役割を果たす姿から関連性をもたせ設定している。

～地域資源の活用～



地域資源に関しては、右のような姿を引き出したり、機会を設定したりするために活用する。
育てたい姿に向けて、活用する！

～キャリアノート～

小学部	中学部	高等部
• 学習の楽しさや頑張りを思い出したり、認め合ったりするためのツール	• 学習で感じたこと、考えたことをまとめ、次に生かすためのツール	• 指導計画の立案、指導内容の選定 • 学びを蓄積し、自分の成長を実感するためのツール

キャリアノートに関しては、右のような目的で用いる。
キャリアノートは、育てたい姿に向けた授業づくりのツールの一つ！